# 令和７年　第２回豊田地区防災会議 会議メモ

◇日　時：令和７年 12 月７日　14:00～16:40
◇場　所：豊田地区センター
◇出席者：横川会長、加藤副会長、
　　豊田地区内の３防災拠点委員長・副委員長、
　　豊田連合 町内会自治会会長（代理含む）　18 名　　井尾（記）

◇議題・内容
1. 豊田地区標準の設定と力量調査
　豊田地区４地域防災拠点に対し「豊田地区標準」を設定し、組織力・現場力の質化・強化を図ることを確認。
・事前に力量調査を実施し、各拠点の強み・弱みを可視化して全体で共有。
・「優良事例の共有」「拠点間比較による改善サイクル」の考え方を提示。
・ 本施策は豊田地区をモデルケースとし、将来的に栄区全体（20 拠点）のレベルアップ・現場力向上へ拡張することを目的とする。

2. 力量調査の方法
・視点：「実働性」「柔軟性」「持続性」
・評価軸：組織・備蓄・訓練・情報・運営・地域連携・育成の７軸
・方法：５段階リッカート式回答＋自由記述
・自由記述では「他拠点へ展開を推奨する資機材」「独自性の高い取組み・仕組み」を共有し、各拠点の方針見直しの材料とした。

◇概要・各拠点の状況
飯島小学校拠点の委員長・副委員長は欠席。運営支援者の飯島氏の意見を参考に調査結果を確認。４拠点の結果は全体として納得感のある内容。
現状力量差より、飯島小学校と其れ以外の３拠点に今後の方針/進め方を区分。

飯島小学校拠点
・「豊田標準」を目指すため、３年間程度の中期計画を策定し、訓練・運営を進める方針を検討する。

小菅ヶ谷小学校拠点
・港南区からの避難者受け入れを想定。
・構成自治会が地域避難所対応と防災拠点対応を同時に進めるのは困難と判断。
・方針：全員が各班の作業を理解・訓練し、非常時には集合メンバーで体制を構築

して拠点を開設。

千秀小学校拠点
・対象地区が非常に広範囲。
・戸塚区より「戸塚区世帯も避難対象とする」要請あり。
・方針：拠点本体の機能向上に加え、地域避難所の機能強化を進め、情報・物資供給拠点として機能分散を図る。

飯島中学校拠点
・構成自治会の半分がマンションであり、大規模倒壊の可能性は低い。
・飯島町内会は戸建が多く、また、規模見合いの地域避難所の準備が困難。
・方針：「飯島中学校式開設」を採用。機能班（庶務・食糧物資・情報広報等）別に訓練を特化し、専門部隊を養成。
最低開設人数が確保できない場合は、混乱防止のため拠点を開設しない。

◇共通課題・検討事項
・各拠点とも方針に沿ったマニュアルを充実化しているが、役員任期が単年であるため技術伝承が困難。各町内会・自治会に対し、役員選出の資質や任期の検討を求め、拠点構成の縦串機能を果たす意識改善と協力を期待。
・行政区境の問題については、拠点に過度な負担をかけず、区役所が戸塚区・港南区と調整し、世帯数見積もりや備蓄食料の見直しを進めるべき。
・拠点独自の取組みや資機材購入については、相互理解が有益であり、各拠点の機能向上に反映させる。

◇今後の対応
・会場借用時間の制約により、一部議題は結論に至らず。
・次回会議まで持ち越さず、委員長間でメール連絡により合意形成を行い、その後全体へ共有することとしたい。

以上

書記：　井尾 博文

承認：
豊田連合町内会自治会会長　　横川　恵
同副会長　　加藤 重雄